

上田商工会議所 工業部会




「うえだ ^{おこ}ひと・もの興しの^{つむ}紡ぎ手」表彰のご案内

上田商工会議所 工業部会では、ものづくり技能・技術を尊重する気運を高めることや従業員のモチベーションアップによる更なる企業経営の発展を目的に、各社の経営に貢献度の高い人、方々を、以下の要綱に従い表彰いたします。

ぜひこの機会に、多くの企業の皆様のご応募をお待ちします！

【要 綱】

(1)表彰対象部門

①技術・技能部門	②管理・運営部門	③社風づくり・風土改善・モチベーションアップ部門
		
<ul style="list-style-type: none">●他に秀でた新商品・製品・サービス・部品・素材等の開発をした人、方々●熟練した技能あるいは模範的技術を有し、所属する企業等に於いて一目置かれた人、方々	<ul style="list-style-type: none">●経営戦略・生産管理・品質管理・環境保全等に関する運営において、際立つ貢献、提案等をした人、方々	<ul style="list-style-type: none">●模範的従業員であり、その存在を広く社外に知らしめるべきと判断される人、方々 <p>例) 勤勉で前向きな人 挨拶が良くできる人</p>

※詳細は、裏面の「過去3年の受賞例」をご参照ください。

(2)表彰者の基準

- ①上田商工会議所 工業部会の正社員・パート従業員とします。
- ②部門毎に、原則1社1名または1グループとします。
- ③他の制度にて表彰を受けていない案件であることとします。

(3)推薦を行うことができる方

- ・上田商工会議所 工業部会代表者、それに準ずる方とします。

(4)推薦の方法

- ・添付の推薦理由書を作成の上、提出してください。

(5)被表彰者の決定

- ・選考委員会による厳正な審査の上、被表彰者を決定、9月下旬に推薦者に通知します。

(6)表彰状・記念品・賞金

- ・各部門において、大賞(1名または1グループ) 表彰状・賞金 10万円

(7)表彰式

平成30年10月26日(金)「上田地域産業展 2018」会場中央特設ステージにて被表彰者プレゼンテーション(ごく簡単なもの)と表彰授与式を執り行います。



平成29年度 表彰授与式風景

【過去3年の受賞例】

1. 「技術・技能部門」大賞

テーマ	「航空無線機用 アルミ溶接技術」	「古来よりの技法を 生かして発展させた」	「NHK 超絶凄ワザ！」 出演時の創意工夫
企業名	株式会社カワベ工業	株式会社清蘭堂	オルガン針株式会社
概要	航空機の飛行高度差での結露により起きる機能障害を防ぐための航空機用無線機ケースのアルミ溶接技術。 内部機器装着後は、真空状態を保てるよう完全な気密性が求められるため、最高度の溶接技術が要求される。	勤続40数年の表具経師。現代における経師の技能を余すことなく発揮させた事例として、奈良・薬師寺の食堂障壁画がある（NHKで放映）。 他に施工例として、比叡山延暦寺の屏風絵、福井永平寺の襖絵、京都智積院の襖絵が挙げられる。	NHKより与えられた課題はアルミ板を貫通する針であり一般用途的にも物理的な座屈荷重の限界を超える未知の領域の難問に、東京都の町工場と対戦。 結果、プレス金型の概念と、新たな加工法、表面処理を施しアルミ板を貫通。会社ブランドの価値向上に寄与した。

2. 「管理・運営」部門大賞

テーマ	「環境保全活動 (アレチウリの駆除)」	「生産実績を可視化 内製化システムの開発」	「チームワークを重んじながら 女子力を活かした品質管理」
企業名	上田日本無線株式会社	信州ハム株式会社	笠原工業株式会社
概要	会社南側の急傾斜崩壊対策工事地ははじめ約2,000平方メートルのアレチウリの駆除を2013年から年に2～3回実施。地元からも感謝されている。	タブレット端末を用いた生産管理システムを約半年間という短期間で開発。 システム設計から開発、導入まで一貫して内製化し外注コストを削減。現場のリアルタイムな進捗状況の可視化を実現。	勤続年数5年～30年余のベテランを含む各年齢層の女性8名が、600,000/年、個客50社15,000種類にのぼる製品検査を行う。 決して派手ではないが、愚直なまでに基本を守り、チームワークを重んじながら女子力を活かしている。

3. 「社風づくり・風土改善・モチベーションアップ」部門大賞

テーマ	「人との和を重んじ社員全員を 繋ぎ隔々まで行き渡る若き血液」	「グローバルに活躍する リーディングウーマン」	「製品製造の基となる、 金型製作を担う新時代の匠」
企業名	有限会社春原工業所	オルガン針株式会社	日信工業株式会社
概要	「AROUND30」と名付けた30歳前後の社員3名。 1名は品質向上を担う中心的存在。1名は社員全員を繋ぐパイプ役。もう1名は問題解決に率先して取り組む。 以上の3名は、人材の育成と知識や技術の継承で会社経営に際立つ貢献をしている。	メリヤス針事業において中国市場は開拓不十分な地域だった。そこで彼女は女性社員初の海外赴任者として自らの耳と足でニット工場を探し情報収集と交渉を重ね福建省や広東省に販売代理店を設置し、販売網を拡大。 当社と中国市場の架け橋になった功績は大きい。	団塊世代の引退による高度技能者が不足する中、先人たちの金型製作における「かん・こつ」の作業を継承しつつ、現代のIT技術を融合。 従来経験のみで育成された金型技術を数値化し合否判定を明確とし、若手の育成に対して積極的に尽力している。

～うえだ ひと・もの興しの紡ぎ手^{おこ つむ て} ネーミングの由来と表彰設置の思い～ 蚕都上田を興す（はじめる、新たに生じさせる、盛んにする）・紡ぐ

当地は江戸時代から蚕糸業が盛んでありました。明治期、我が国の主要輸出品として生糸が取扱われ、桑・蚕の品種改良や生産力向上の努力がなされてきました。それは、現代の創意工夫・品質管理に通じるものがあります。繭玉から生糸を紡ぐように、上田の企業で働く方々の持つ素晴らしい力をよりあわせ、丈夫な生糸のように途切れることなく、ものづくり技術を永く後世に伝え、企業発展につなげていければと願い該賞をいたしました。技術や

技能、売上貢献への活動は元より、企業活動のベーシックな部分で陰日なたく企業を支え続けてくれる従業員の方を表彰することで、自社だけでなく他社の皆さんにもその活動を広く知っていただき、これがそれぞれの企業の発展の一助となるよう願っております。

平成30年7月 上田商工会議所 工業部会